

令和7年度 体育施設および朝倉ふれあい交流センター 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市体育施設および朝倉ふれあい交流センター
所在地	今治市別宮町六丁目2番2号 他
指定管理者	名 称 特定非営利活動法人 今治しまなみスポーツクラブ 代表者 二宮 芳雄 所在地 今治市松本町一丁目1番地9
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課(問合せ先)	今治市 総合政策部 交流振興局 スポーツ振興課 TEL:0898-36-1604 E-mail:sports@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	今治市体育施設の設置目的「市民の健康の増進とスポーツによる明朗、健全な精神を育成すること」を実現するために、基本理念を以下のとおり定め、全職員が協力して運営に取り組んでおります。 ①安全性(安心安全) ②公共性(社会性) ③健康性(心と体を健康に) ④利便性(楽しく便利で気持ち良く) ⑤経済性(安全性とサービスレベルの維持向上は最優先) 施設の設置目的及び基本理念は、各施設及びホームページに掲載しております。	B	施設の設置目的と基本理念が職員に共有され、日常運営に反映されているほか、施設内掲示やホームページ等による周知を通じて安全確保に努め、市民の健康増進とスポーツ振興に寄与しています。また、管理運営の基本方針に基づき、関係条例・規則に沿った適正な運営が行われています。
利用状況	B	利用者数は、施設全体では前年度から4%の上昇でしたが、利用者が減少している施設もあり、原因を分析し対策を講じます。 あわせて、課題である平日の日中の空いた時間帯に新規利用者獲得に取り組み、稼働率アップに繋がりたいと考えています。 また、稼働率を上げる為、施設の空き状況等の情報発信等をホームページやSNS等で行うことができるように検討すると共に、イベント及び合宿誘致活動等も積極的に行うようにしていきたいと思います。	B	利用者数の増加に向けた企画・運営の取組は成果が見られます。今後は、利用が減少している施設の課題分析を進めるとともに、施設の空き状況や特色ある事業等の情報発信、イベント・合宿誘致を強化し、さらなる利用促進と稼働率向上を図ってください。
事業収支	C	〈収入について〉 主たる収入の施設使用料は、予算額を4,401千円上回りました。 自主事業の収入も予算額を753千円上回りました。 収入合計では予定額を13,352千円上回りました。 〈支出について〉 予算額を超えて支出した科目があり、次年度へ向けて価格上昇を考慮した予算を検討して修正を加えます。 支出合計では予算額を17,275千円上回りました。 〈収支について〉 単年度収支は、3,923千円の赤字となっています。	C	施設使用料と自主事業収入が予算を上回り、収入確保に取り組んだ点は評価できます。一方で、人件費や物価上昇の影響により一部経費が予算を超過し、単年度収支が赤字となったことから、今後は収支バランスを踏まえた予算管理と経費節減を進める必要があります。持続可能な事業運営に向けて新たな財源確保策を検討し、得られた収益は利用者や地域社会に還元する取組を期待します。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	B	管理運営業務を実施するために業務形態にあった適正な人数配置としました。 また、研修や講習を通じて、職員のスキルアップを図るとともに、課題解決策を具体化し、課題解決を実施する事ができました。 今後は、施設の管理運営・事業運営等も含め、研修・講習内容の検討も進めて参ります。	B	管理運営業務において必要最低限の人員配置と考えます。将来を踏まえて安定した施設運営を行うためにも、職員の新規採用にも努めてください。職員間で知識や経験を共有しながら業務を遂行し、研修や講習を通じて資質向上と課題解決に取り組んでいる点は高く評価しています。今後も継続的な人材育成と組織力の向上を期待しています。
管理運営業務	B	利用者の皆様が安心して快適に利用できる良好な施設環境を提供するため、施設・設備・備品等の状態を巡回点検し、必要な整備・修繕等を実施しました。 また、各施設のトイレ、グラウンド等を定期的に巡回し、グラウンド整備及びトイレ清掃・施設内清掃を実施して、利用者の皆様に気持ちよく安心して利用していただけるようにしました。 利用者の皆様からご意見・ご感想をいただき、できる限り管理運営に反映できるようにと継続して意見箱を設置し、より良い施設となるよう改善に努めました。 また、利用者とコミュニケーションを積極的に取り、意見や要望をいただき、施設の運営管理に反映させるようにしました。	B	必要最低限の人員体制のもとで業務を進めつつ、将来の安定した運営に向けて新規採用の検討が求められます。職員間で知識や経験を共有し、研修や講習を通じて資質向上と課題解決に取り組んでいる点は適切です。また、防災訓練や各種研修を継続的に実施し、災害時の避難施設としての役割を踏まえた意識向上に努めていることは重要であり、今後も継続した人材育成と組織力の強化が期待されます。
利用業務	B	施設の使用許可については、利用の公平性、透明性の客観的な評価に基づき対応することができました。 Instagram及びFacebook・Twitter・YouTube・LINEにて情報発信を行いました。 定期的な利用者や各種大会の開催により利用者は増加傾向にありますが、平日昼間の施設利用がないところもありますので、より一層のイベント・合宿等の誘致及び施設利用促進を展開し、施設を有効利用できるようPR活動します。	B	施設使用許可について、公平性・透明性・客観性に基づき適切に運用されており、市民からの信頼向上に資する取組として高く評価できます。複数のSNSを活用した積極的な情報発信は、若年層や市外利用者への周知効果が高く、施設の認知度向上と利用促進に寄与するものです。引き続き、利用者から信頼される公正な施設運営を着実に進めてください。
その他業務	B	事故及び災害等発生時の対応については、各施設担当が施設の現状を把握し対応を検討しました。 桜井海浜ふれあい広場サッカー場では、大会等の準備片付対応及び夏場の熱中症対策の為、前後の使用時間を延長しました。 夏場大会の日中開催自粛を受け、延長時間を有効に利用する事ができました。 引き続き有効利用できるように管理運営に努めます。	B	事故・災害時の初動対応は施設運営の信頼性を左右する重要な要素であり、現状に甘んじることなく体制の強化に努める必要があります。夏場の熱中症対策として使用時間を柔軟に調整するなど、安全確保に向けた運営判断は適切です。また、利用者意見を踏まえたマニュアル更新や、市との連携による改善が継続されている点は評価できます。引き続き、定期的な訓練の実施や受動喫煙防止への注意喚起を徹底し、災害時の避難施設として求められる役割を確実に果たせるよう、運営体制の強化を図ってください。
修繕業務	B	施設の日常点検を実施し、修繕等が必要な箇所はその都度対応・対策を実施しました。 また、施設利用者の要望及び安全性向上に係る箇所は、優先的に修繕実施しました。 各施設とも経年劣化に伴い突発的な修繕が年々増加傾向にあり、日常点検では把握できない箇所も多々あり、耐用年数に応じて更新及び施設運用方法等の対応を検討をしていきます。	B	日常点検により危険箇所を早期に把握し、適切な時期に修繕を行うことで、安全性を確保しつつ修繕費の抑制にもつながっていきます。老朽化の進行に伴い突発的な修繕が増加している状況を踏まえ、市と密に連携しながら修繕の優先順位を明確にし、迅速かつ計画的に対応することが求められます。引き続き、利用者の安全を最優先に、点検体制の強化と安定した施設運営に努めてください。
備品管理業務	B	老朽化した備品を使用頻度・必要性に応じて更新しました。 施設利用者から要望があった場合は、危険性・使用頻度に対応して、備品の入替時期及び入替品の選定を行いました。	B	老朽化備品については、使用頻度や必要性、危険性等を総合的に勘案し、計画的な更新を実施されています。これらの取組は、施設利用における安全性の確保及び利用者満足度の向上に資するものと評価しています。今後も、安全性と利用状況を踏まえた適切な更新判断を継続するとともに、長期的な備品管理計画のもと、競技レベルやルール改正に対応した更新を着実に進めてください。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
行政財産の目的外使用許可 手続業務	B	全体の収益は、前年より約4%下回りました。また、採算性の悪い施設・設置箇所は、撤去・台数削減し、効率性重視の検討を含め、現状を把握・分析します。 さらに、自販機の入替及び新規設置については、大規模災害が発生した際に飲料水を無償で提供する、災害対応型・省エネ型自動販売機の設置を推奨しました。 今後、商品値上げに伴う売上減少が予測されます。 特に自販機販売機は、値上げが10円単位となる為、大きく影響が出る可能性が想定されるため、こまめに現状分析を行い効率的な設置に努めていきたいと思います。	B	収益が前年を下回る状況を踏まえ、採算性の低い設置箇所の効率化や台数見直しを進めてください。災害対応型・省エネ型自動販売機の導入は、防災性と環境配慮の観点から有意義であり、現状分析に基づく効率的な運用を評価します。 また、施設目的を損なうことなく適切に手続きが行われている点は妥当であり、事業収入拡充に向けて広告料収入など新たな手法の検討を期待します。
自主事業	B	スポーツの普及やきっかけを目的とした事業、施設の有効利用を目的とした事業など、目的を明確に事業を実施するよう心がけ、実施にあたっては、地元の種目団体や企業チームと常に連携を行い、各種目の普及や情報発信に努めてまいります。 今後は、継続している活動を改善しながら、参加者の日常的な利用促進や、満足度につながるように工夫を行います。 また、施設の有効活用や、地域住民のニーズに応えられるよう新しい事業にも取り組んでいきたいと考えています。	B	自主事業について、実施効果を分析しつつ活動の幅を広げようとしている点は適切です。地元団体との連携のもと、スポーツ普及や施設活用を目的とした事業を進めていることは、事業目的に沿った妥当な取組として評価できます。継続事業の改善による参加者満足度の向上や、地域ニーズを踏まえた新規事業の検討は、施設運営の充実に寄与するものです。今後も、利用者が参加したくなる事業展開を積極的に進めてください。
地域団体との連携	B	地元の種目団体を中心に、教室やイベントの実施にあたり、連携した活動を実施しました。各団体のニーズにも応じ、双方がメリットのある形で連携するよう心がけました。 前年度に引き続き、インターンシップ・ジョブチャレンジの受入れをし、学生の職業意識の向上に努めるとともに、学校教育の支援という形で社会貢献する事ができました。 新たに、FC今治の天皇杯1回戦でスタジアム周辺で賑わい創出イベントを開催させていただきました。 次年度以降も連携体制は取れているので日程調整ができれば、より多くの団体と連携しながら、活動を広げたいと思います。	B	地元団体と連携した教室・イベントの開催により、双方のニーズを踏まえた協働体制を構築している点は適切です。インターンシップ等の受入れを継続し、教育支援や青少年の健全育成に寄与していることも評価できます。さらに、FC今治の試合に合わせた賑わい創出イベントの実施は、地域連携と施設活用の拡大につながる有意義な取組です。今後も、地域団体との連携強化や外部団体との情報交換を進め、スポーツ普及や参加促進につながる事業展開を期待します。
利用者アンケート	B	全体的に、満足度の高い回答が多く見られましたが、一方で改善事項などの声も伺うことができました。伺った声は、各施設の責任者で共有し、どの施設でも対応できるよう改善を行いました。 今後も利用者からの声を聞く機会を大切に、安心・安全な施設として利用していただけるよう心がけます。 そして利用者の声を元に、サービスの向上に努め、ホームページやInstagram・LINE等SNSを活用し沢山の方へ情報発信ができるように努めていきます。 そして個人からグループへと、コミュニティが広がり、「生きがいづくり」「仲間づくり」の場所、「健康維持」の場所としての体育施設となれるよう、管理・運営に努めて参りたいと思います。	B	利用者の意見を把握し、施設間で共有したうえで改善につなげている点は、適切な運営が行われているものと評価します。安心・安全な環境づくりに努めつつ、SNS等を活用した情報発信を強化している点は、利用促進に資するものです。また、コミュニティ形成や健康維持の場としての機能向上を目指す姿勢は、地域スポーツ環境の充実に寄与しています。今後もアンケート等を通じて潜在的なニーズを把握し、運営改善に生かしてください。

課題	指定管理者自己評価	市による評価
事故・苦情	B 事故、苦情が起こったときは迅速に対応しました。併せて再発防止策も検討し、点検、メンテナンスを強化し、故障や故障しそうな箇所を事前に発見し対応することができました。その結果、再発防止にも繋がり、同じ苦情は減少しました。 対応できるものは対応し、対応できないものは市と共有して進めました。 また、管理者目線ではなく、利用者立場（目線）で施設内の環境を点検し、どのようなリスクがあるかを探し改善する事を目的とし、職員が実際に施設を使用する側になることで、普段見逃していた「気づき」が沢山あることがわかり、これからの施設の環境整備や日々の業務の中に別の視点をおけるようになりました。 今後は、「施設を安全・安心に」「利用者が満足するように」職員一人ひとりが施設利用者の立場になって運営管理ができる施設にできればと考えております。	B 事故や苦情に対し迅速かつ的確に対応し、再発防止策の検討や点検強化につなげている点は、管理体制として高く評価できます。利用者の立場を重視し、誠意をもって問題解決に取り組む姿勢は、施設の安全性向上に大きく寄与しています。今後も、この誠実な対応を継続し、安全・安心で信頼性の高い施設運営を継続してください。
指定管理者の経営状態		会計事務所による監査が毎月実施されており、適正な会計処理がなされています。

総 合 コ メ ン ト（市）
市との連携を密に行い、対処が困難な事例にも迅速かつ適切に対応している点は、施設運営者として高く評価されます。スポーツ施設が果たすべき役割が多様化する中、市民の健康増進や地域コミュニティの活性化に寄与する運営姿勢は、公共施設として求められる使命に沿ったものです。 老朽化が進む施設においても、日常点検や清掃を丁寧に実施し、利用者が安心してスポーツに取り組める環境を維持している点は、地道ながら極めて重要な取組です。こうした継続的な管理は、利用者満足度の向上に確実に繋がっており、適切な運営がなされていると認められます。修繕についても、利用状況を踏まえた分析のうえ、応急的な対応と長期的な修繕計画を組み合わせて、優先順位を明確にして着実に進めている姿勢を評価します。 また、災害や事故に備えた訓練・研修を継続し、職員一人ひとりの防災意識や業務意識の向上に努めている点は、利用者の信頼と安心を確保するうえで欠かせない取組です。平時から研鑽を重ねる姿勢は、施設管理者として非常に重要であり、今後も職員が積極的に研修を受講できる環境づくりを進めていただきたいと思います。 さらに、人件費や物価の上昇、修繕費の増加など運営環境が厳しさを増す中でも、感染防止対策を継続しつつ、趣向を凝らした事業展開により稼働率・利用者数の向上を図っている点は妥当であり、努力の成果が表れています。利用者数が大幅に増加していることは、施設運営の質が高まっている証左といえます。 スポーツ施設の役割が一層重要となる状況を踏まえ、これまでに培ったノウハウを活かしつつ、新たな試みに積極的に挑戦する姿勢を期待します。スポーツパークをはじめとした各施設の特性を最大限に活かし、地域のスポーツ環境の充実に向けた取り組みをさらに推進してください。

指定管理者選定審議会による総合評価
B 施設の老朽化への対応や収支バランスを踏まえた経費削減などの課題はあるものの、日常点検や清掃等を適切に実施するなど、利用者が安全かつ安心してスポーツ施設を利用できる環境の維持に努めていることは評価できます。 業務仕様書に基づき、おおむね適正な管理運営が行われていますが、収支バランスの改善に向けた取組を行うとともに、今後も施設の適切な維持管理に努め、これまでの経験を活かした新たな取り組みを積極的に推進し、さらなる利用者サービスの向上と効率的かつ安定的な施設運営を期待します。